

整理番号	TI-540008
発行	2025年02月03日

題目 『ペンギンシール2599Type1-WJ』のJIS A 5758
「建築用シーリング材」社内品質性能試験結果

SUNSTAR

サンスター技研株式会社

(大阪研究所)
〒569-1044
大阪府高槻市上土室5-30-1
TEL:072-694-7771
<http://jp.sunstar.com>

・認可			・担当		
-----	--	---	-----	---	---

1. はじめに

「ペンギンシール 2599 Type 1-WJ（1成分形変成シリコン系）」において、
JIS A 5758 F-20LM-9030（MS-1）の試験項目に準じて社内品質性能試験を行いましたので、その結果について以下にご報告いたします。

2. 試験材料

試験材料を表 1 に示す。

表 1 試験材料

試験材料	製品名	ペンギンシール 2599 Type 1-WJ	
シーリング材	色	ニューグレー	
	Lot.	研究試作品（0104S）	
	数量	4Lセット	
プライマー	製品名	プライマーUM-2	
	Lot.	Y204K	
	数量	500ml	
	塗布方法	はけ塗り	
	オープンタイム	1時間	
被着体		アルミニウム板	モルタル板

3. 試験方法

3. 1 試験の内容

実施した試験項目を以下に示す。

- （1）スランプ
- （2）弾性復元性
- （3）引張特性
- （4）定伸長下での接着性
- （5）圧縮加熱及び引張冷却後の接着性
- （6）水浸せき後の定伸長下での接着性
- （7）体積損失
- （8）耐久性（区分 9030（MS-1））

3. 2 試験方法

JIS A 1439 : 2022「建築用シーリング材の試験方法」に従って各試験項目の試験体の作製・養生（1成分形）および試験を行った。なお試験体数は3個とした。適用する目地幅条件を表 2 に、耐久性試験手順を表 3 に示す。

表 2 目地幅の条件

試験項目	F - 2 0 L M
弾性復元性	伸長率：6 0 % 伸張時の目地幅：1 9 . 2 m m
引張特性	伸長率：6 0 % 伸張時の目地幅：1 9 . 2 m m
定伸長下での接着性	伸長率：6 0 % 伸張時の目地幅：1 9 . 2 m m
圧縮加熱及び引張冷却後の接着性	拡大・縮小率：± 2 0 % 拡大時目地幅：1 4 . 4 m m 縮小時目地幅：9 . 6 m m
水浸せき後の定伸長下での接着性	伸長率：6 0 % 伸張時の目地幅：1 9 . 2 m m

表 3 耐久性試験手順

試験手順				耐久性の区分	9 0 3 0 (MS - 1)
1	目地幅を 1 2 m m に固定し、 (5 0 ± 1) °C の温水中に浸せき	時間	h		2 4
2	目地幅の固定解除後、 (2 3 ± 2) °C, (5 0 ± 5) % R H に置く	時間	h		2 4
3	圧縮加熱	目地幅	m m		8 . 4
		変形率	%		- 3 0
		温度	°C		9 0
		時間	h		1 6 8
4	目地幅の固定解除後、 (2 3 ± 2) °C, (5 0 ± 5) % R H に置く	時間	h		2 4
5	引張冷却	目地幅	m m		1 5 . 6
		変形率	%		+ 3 0
		温度	°C		- 1 0
		時間	h		2 4
6	目地幅の固定解除後、 (2 3 ± 2) °C, (5 0 ± 5) % R H に置く	時間	h		2 4
7	手順の繰返し				試験手順 1 ~ 6 繰返し 1 回
8	目地幅を 1 2 m m に固定し、 (2 3 ± 2) °C, (5 0 ± 5) % R H に置く	時間	h		2 4 以上 1 6 8 以下
9	目地幅の拡大・縮小 (5 ± 1 回 / m i n)	目地幅	m m		8 . 4 ~ 1 5 . 6
		変形率	%		± 3 0
		回数	回		2 0 0 0

4. 試験結果

試験結果を表 4 に示す。

表 4 試験結果

試験項目				試験結果	性能規格
スランプ（mm）		縦	5 0℃	0	3 以下
			5℃	0	3 以下
		横	5 0℃	0	3 以下
			5℃	0	3 以下
弾 性 復 元 性 （ % ）				6 7	6 0 以上
引張特性	引張応力 （N／mm ² ）	アルミニウム板	2 3℃	0 . 2	2 3℃：0 . 4 以下 － 2 0℃：0 . 6 以下
			－ 2 0℃	0 . 2	
定伸長下での接着性		アルミニウム板	2 3℃	破壊なし	破壊してはならない
			－ 2 0℃	破壊なし	
		モルタル板	2 3℃	破壊なし	
			－ 2 0℃	破壊なし	
圧縮加熱及び引張冷却後の接着性		ア ル ミ ニ ウ ム 板		破壊なし	破壊してはならない
		モ ル タ ル 板		破壊なし	
水浸せき後の定伸長下での接着性		ア ル ミ ニ ウ ム 板		破壊なし	破壊してはならない
		モ ル タ ル 板		破壊なし	
体 積 損 失 （ % ）				3	1 0 以下
耐久性 （区分：9 0 3 0）		ア ル ミ ニ ウ ム 板		3 個とも試料の溶解， ひび割れ，膨潤，被着体からの はく離などの明確な異常は認められなかった。	明確な異常が認められないこと。

5. 試験結果のまとめ

本製品は、J I S A 5 7 5 8 F - 2 0 L M - 9 0 3 0 (MS - 1) に適合すると判断する。

—以上—

この技術報告書は弊社の標準化された試験方法及び設備に基づき実施し作成されたものですが、材質、使用条件、環境などにより相違する場合がありますので、当該性能を保証するものではありません。

従って、ご需要家各位で使用目的、条件に適用するかどうか十分ご確認の上、ご使用下さいますようお願い申し上げます。